



栄光園だより  
第141号  
2025年10月31日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町5番18号  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
http://www.eikoen.jp/  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

### 社会福祉法人栄光園の理念に立つて

### 理事長就任のご挨拶

社会福祉法人 栄光園 理事長  
(大分大学福祉健康科学部教授)

滝口 真



### 社会福祉との邂逅

本年6月の当法人理事会の推薦を受け、理事長に就任しました滝口と申します。

私は広島県の出身で高校生の進路に悩む時期に阿部志郎先生(横須賀基督教社会館会長・神奈川県立保健福祉大学名誉学長)の著書に感銘を受け、著者の阿部先生に直接お手紙を差し上げたことが転機となり社会福祉の道を志すことになりました。

大学時代は重度重複障がい児(重度脳性マヒと重度知的障がいおよび自閉症児)への機能回復訓練(臨床動作法)と集団療法(福祉レクリエーション)に没頭し、障がい児への療育活動を専門に学びたいとの思いから大学院障がい児教育を専攻しました。その後、障がい児が成長し、特別支援学校高等部

を卒業する際の就労支援と社会参画となる地域福祉および障がい児の親じき後の住まいと高齢期への支援等、福祉対象者の一生涯の支援の必要性に気づき与えられ、大学院社会福祉学と工学系を修了しました。振り返ると、常にそこには、当事者本人の生活そのものへの権利擁護と社会問題への対峙がありました。

また、大分県の委託を受けて、大分大学大学院権利擁護教育研究センターにおいて「こどもアドボケイト活動」のスーパーバイザーを務め、児童相談所、大分県内の児童養護施設等に訪問し、活動を継続するなかで各法人の取り組みを含め多くの気づきを頂いています。

さて、理事長就任に際して、これから次の2つを念頭に置き展開したいと思います。

### 1. ミッションの継承

栄光園は戦後の窮乏と困難のなか見捨てられた混血児をキリストの愛をもって迎える施設として、1950年に財団法人基督教栄光園として発足し、今年で創立75周年を迎えます。日本キリスト教団別府不老町教会の野町良夫牧師が初代理事長を務め、私で12代目となります。創設75年のなかには、国の施策を受けて、社会福祉を取り巻く様々な改革が生まれました。その変化のなかにあつて、当法人設立より変わらないものは、「キリストの愛による子どもと地域福祉への奉仕」です。

栄光園の基本理念として、「私たちの創り主である神様を愛し、隣人を愛することにより、神様の栄光をあらわすことに由来します。私たちは、法人に関わる全ての人たちが互いに愛し合い、思いやりをもって心豊かに生活することができるよう、子ども・家庭・地域社会を支援することを目指します。」と掲げています。本理念における神様とは、子ども達そのものです。「心を入れ替えて、子どものようにならなければ、決して天国に入ることはできない」(マタイ18章3節)と聖書は説いています。すなわち、キリスト教社会福祉の精神は、神様と子どもを同一視し、子どもの存在そのものを尊び、神様の存在自体をその子どもとおして意識化する人格と人格の接点にミッションの継承を覚えます。

### 2. 地域福祉への働き

2024年に日本財団の支援を受け、1952年創設の乳児院から「乳幼児総合支援センター」と改称し新たな再出発をしました。新設の乳幼児舎開設式典には、佐藤樹一郎大分県知事、長野恭紘別府市長はじめ関係諸機関ならびに地域の皆様方、継続してご寄付を頂く多くの方々等のご臨席を賜りました。当法人の75年の歩みにおいて地域の皆様方からの継続的かつ長期的なお支えがあったからこそ、現在の栄光園の存在を確認することができ感謝に堪えません。

本年9月開催の全国社会福祉法人経営者大会において「2040年を見据え、地域の多様な主体との連携により、地域共生社会を実現し、かけがえないふるさとを守るため、果てしなき挑戦と実践を重ねてまいります。」と大会宣言が示されました。

「あなたがたは地の塩である。」(マタイ5章13節)と聖書は語ります。地域において栄光園が必要とされ、地域福祉への貢献ができるよう創立90周年を迎える2040年には、大会宣言で掲げられたテーマの具現化に向けて地域の皆様方からのご理解を頂きながら、確かな歩みを重ねたいと切望します。今後とも倍旧なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。







# 感染症について

看護主任 福本 有輝

皆さま、暑い日が続く中で体調管理は出来ていますか。センターでは8月後半にRSウイルスが流行し、こどもが入院し、職員も数名体調不良になって9月前半になり、ようやく落ち着いたことができました。

そこで少しRSウイルスについて勉強してみよう。

RSウイルスは風邪の一種ですが、風と比べると乳幼児や小児が重症化するリスクが高く、特に初めての感染で肺炎や細気管支炎を引き起こす可能性があります。大人が感染した場合はほとんどが軽い風邪症状で済み、RSウイルスと気づかずに治ってしまうこともあります。高年齢者も重症化に注意が必要です。大人が感染しても症状が軽いと本人は気付かず、家族などに感染を広げてしまうこともあるため、咳エチケットやマスク着用などの感染対策が

大切です。センターでも早めの感染対策をしていましたが、すぐに流行し感染者が出ました。それだけ感染力の高いウイルスです。今現在ニュースでも流れているように新型コロナウイルス(インバズ)が猛威を振るっています。大分県でも流行しています。過去の感染やワクチンによる免疫から逃れる性質を持つっており、従来よりも広がりやすいと説明されています。



このように世の中にはたくさんさんの感染症があります。日ごろの体調管理や感染症予防の対策がいかに重要か再確認するとともに、引き続き、こどもたちが安心して過ごせるように職員一同自己の体調管理、こどもたちの体調管理を徹底していきたいと思えます。

## 青山こども園

### ありがとうお神輿!

保育士 溝口 那奈

らいおん組の5歳児のお友だちは夏祭りのために頑張って作ったお神輿をみんなで解体し、片付けました。片づける前に、「夏祭りを盛り上げてくれ

てありがとう」とみんなで手を合わせて感謝の気持ちを伝え、手作りあおテン(※)人形やお花紙の飾りを取りました。片づけている最中はお神輿を担ぐ時のように「わっしょい」と掛け声が聞こえたり、「こっち押さえるけん、そっちを引っ張て！」と声を掛け合ったりして、こどもたちだけで協力し合ってきれいに片付けができました。製作遊びはいつも作って飾ったり遊



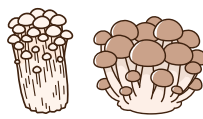
んだりして終わりますが、道具や材料があつたから一つの物が出来上がり、誰かが片づけや掃除をしてくれるから作品を置くスペースが生まれ、また新たに製作を楽しむことができるということを学んでほしいと思います。今年はお神輿の解体をこどもたちにお願ひしました。やっていく中で意見がぶつかる姿もありましたが、次第に分担してやり遂げる姿が多く見られ、さすがは最年長児さんたちだなと頼もしく感じました。らいおん組のお友だちは自由時間で工作を楽しんでいます。この経験の後から廃材の使い方が少し上手くなり、作る物もより本格的なつてきたので、今後の成長も楽しみです。

(※)あおテンとは青山こども園のキャラクターです。

## なんか変なにおい

保育士 阿部 菜月

ぞう組4歳児のお友だちはクラスできのこ割きをしました。きのこの独特な匂いに「なんか変なにおいがするよ」「これきのこのにおいじゃない」と発言をしたり、保育士が「これは何のきのこでしょう?」と問題を出したりすると「きのこ!」「えのき」などと言っていました。1人の男の子が「しめじ」と正解し正式名所は「ぶなしめじ」であることを伝えました。他にもいろんな種類のきのこがある事を伝えると、見たり、触れたり、匂ったりしたことでのきのこに興味を持つ様子が見られました。同じ日に自分たちが割いたきのこが給食に出ると「私たちが割いたきのこが入ってる!」といつもより嬉しそうに給食を食べていたこどもたちでした。まさしく学びと実体験が結びついた瞬間だと思えます。



また様々な形で五感を通した経験をたくさんしていきたいと考えています。

## クッキングをしたよ

保育士 阿部 由妃

ぱんだ組2歳児のお友だちはクッキングを行いました。今回作ったのは豆腐を使用した「豆腐ドーナツ」です。い

つもはお汁の中に入っていることの多い豆腐を泡立て器で崩し、ホットケーキミックス、白玉粉と牛乳を混ぜ合わせることで感触の変化や見た目の変化を楽しむことができました。一つに



まとまった生地は手で触れてもべとべとしないう程度になり、こどもたちも上手に手で丸めていきました。出来上がったドーナツは白玉粉を入

れたことで少しモチっとして歯ごたえのある食感で、こどもたちには少し硬かったようですが、お豆腐の香りが残っており、それに気付いたこどももいました。

食材の変化を見て面白さを感じたり、一緒に作って食べたりすることへの喜びや楽しさを共感し合うことでこどもたちの成長につながることを願っています。

### 大人はジャッジしない

主幹保育教諭 二宮 孝介

先日らいおん組5歳児の2人のお友

だちが言い合いのケンカをしている場面を見かけました。そのうち取っ組み合いに発展してしまつたので駆け



寄り間に入りました。2人の話を聞くと、鬼ごっこをしていて鬼になっていたAさんはBさんにタッチをしたのに鬼にならずにそのまま逃げた。逃げたBさんはタッチはされたけど触れた部分が少しだったので鬼にならなくていいというお互いの意見の食い違いがきっかけだったようです。

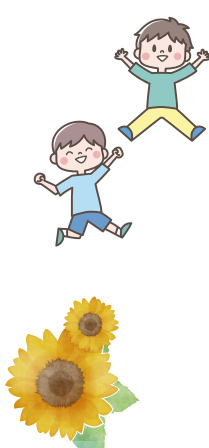
ここで私は以前研修を受けた内容を試してみました。その内容とは「大人は一方的に解決策を押し付けない」というものです。例えば、この場面では「それはAさんが(Bさんが)よくないよ」「じゃんけん決めてなさい」などと保育士が言うことになると思います。それをしないために2人が自分の話を相手に聞いてもらうように仲立ちをしました。

初めは直前まで遊んでいた鬼ごっこについての言い合いになりました。そのうち「あの時のことが嫌だった」「なんでもそれを言うん」とそもその内容から外れだしたので私が「Aさんの(Bさんの)一番言いたいことは何」と話を戻しました。その後も何度も話が

戻ったり、外れたりを繰り返してしましたが、そのうちお互いに「謝ってほしい」と相手に言い、交互に相手に謝ってこの言い合いは終了しました。

今回は私が解決策を提示しなかったことで2人の間でこの話の、お互いの気持ちのちょうどよい落としどころを見つけたのだと思っています。その落としどころをこどもたちが見つけられたのも十分自分の気持ちを言えて、相手の気持ちを聞いたその経緯があつたためだと思っています。

次回別の場面で同じような結果に落ち着く自信はありませんが、「大人は一方的に解決策を押し付けない」関わりは心がけていこうと思えました。



### 野口保育所

暑かった夏も終わり、ようやく朝夕も涼しくなってきました。今年も残すところ2ヶ月、一日一日を大切にこどもたちと楽しく過ごしたいと思います。

夏から秋にかけてのこどもたちの様子を少しずつですが、ご紹介していきます。

### 夏の遊び

保育士 干潟 あずさ

今年の夏は猛暑だったので、体調や月齢に配慮しながらゆつたりと夏の遊びを取り入れました。0歳児(いちご組)ならではの「タライ」に入った姿は可愛らしく担任は癒しの毎日でした。



水遊びがお休みの日は、水や蛇口からの水に触れて涼をとりながら過ごしました。水が苦手

なこどももいましたが、沐浴では泣かずに気持ちよさそうな表情を見せてくれました。これからも季節やこどもの成長にあった感触遊びを取り入れていきたいと思えます。

### 夏祭り

主任保育士 末吉 佳奈

8月2日(土)に野口保育所の夏祭りを行い、今年も『海の世界へようこそ』がテーマでした。

天気は良く気温も高かったですが、4・5歳児が作ったお神輿やくじびぎや手作りのかばんなどの遊びのコー

ナ、保護者の方にも参加してもらった「風船割り」や「スイカの早食い競争」、「しかのこのこのここしたんたんゲーム」の催し物も大盛況でした。



### シエイクアウト別府に参加

主任保育士 末吉 佳奈

別府市内8月30日～9月5日の防災週間に合わせ別府市でも市内一斉安全確保行動訓練「シエイクアウト別府」が行われ、9月1日に参加しました。

サイレンの音を聞いて驚いて泣いてしまうこどももいましたが、保育士と一緒に布団や机の下に隠れ、その後は静かに避難することが出来ました。毎月避難訓練を行っているので、こどもたちは火災や地震の時の大切な約束を覚えていました。日々の避難訓練の大切さを改めて感じ、これからも毎月取り組んでいきたいと思っています。



### 園内研修を通して

保育士 梅木 あゆみ

日頃から体を動かすことが大好きなぶどう組(2歳児)のこどもたち。園内研修では海の生き物になりきって表現遊びをしました。ピアノの音に合わせて「かに」「たこ」「じんべいざめ」「はりせんぼん」「いか」などに変身して手の動きや顔の表情など上手に表現していました。いつもと雰囲気の違い、たくさん先生の方が見ている中で緊張する姿や恥ずかしがる姿も見られましたが、こどもたちは楽しんでいました。次はこどもたちと一緒に何の生き物に変身するか考え、楽しく活動が出来るようにつなげていきたいと思っています。

### 聖書の言葉

心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。

別府不老町教会 牧師 尾崎 二郎

(マタイによる福音書5章8節)

神を見つめる人は幸いです。その人たちは心が清くされます。今日の聖書の言葉をこのように言い換えますと、かなり趣きが変わりますが、イエス様はこのようにも言われているのだと思います。

さて、現代では、社会でも学校でも、人間が神様から遠ざけられ、神を見るチャンスが減っているように思います。それで人間は否応なく、人間を中心にしたことを見るようになっていきます。

例えばこんなことがあります。自分の体、自分の心、相手の体、相手の心を見つめるということなどです。赤ちゃんがこれらの4つのうち先ず何を見つめるのかを考えると興味深いですが、私には経験と知識が欠けていますので、ご存じの方は是非教えてください。

率直に言つて今の私ですと、相手の心、相手の体、自分の体、自分の心、という順序でしょうか。この目には、心は見えず体は見えます。自分のことを見つめていると相手のことが見えなくなり、そんなことから、この世には、相手の心を見つめることが最善であるという価値観が有ります。

しかし、神を見つめることに比べ、これらの4つの違いは取るに足らないことです。なぜなら神の目から見れば、これらはどれも有限ではかないことだからです。

千年といえども御目には、昨日が今日へと移る夜の一時にすぎません。あなたは眠りの中に人を漂わせ朝が来れば、人は草のように移ろいます。朝が来れば花を咲かせ、やがて移ろい夕べにはしおれ、枯れて行きます。あなたの怒りにわたしたちは絶え入りあなたの憤りに恐れれます。あなたはわたしたちの罪を御前に隠れた罪を御顔の光の中に置かれます。わたしたちの生涯は御怒りに消え去り人生はため息のように消えうせます。人生の年月は七十年程のもので、健康やかな人が八十年を数えても得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。(詩編90編4～10節)

7月の「栄光園だより」では、「最初の天と最初の地は去って行く」ことをお話ししました。そしてそれに替わって「聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下つて来る」ことが見られるのです。新しいエルサレムでは「もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦も」ありません。(ヨハネの黙示録21章より) 栄光園では、金曜学校などで礼拝が行われ、私たち人間がこの地上にいる時から、神を見つめる時間を大切に守っています。

地域交流事業  
集いの場 くるみ

地域支援担当 原田 康子

7月

7月は、夏休みに入ったばかりの7月23日、大学生や、地域の方々の協力を得て、こどもたちの学習支援を行いました。皆熱心に夏休みの宿題に取り組んでいました。学習の後は、タコ焼きパーティーをして楽しみました。こどもたち発案の独創的なタコ焼きが食べられました。これからもこどもたちの学びを応援していきたいと考えております。



8月

8月は、小学生のこどもたちが待ちに待っていたデイキャンプを行いました。昨年計画していたものの、こどもたちの体調がすぐれず実施できなかったものでこどもたちに



とっては1年越しのイベントでした。

今回もテントを立てたり、スイカわりをしたりしてキャンプの雰囲気を楽しんだり、ハンモックに寝そべてゆったりと過ごしているこどもたちの姿が見られました。この日の夕食はバーベキュー！いつものカレーとは違い、炭火で焼いたお肉や野菜、自分たちで作ったおにぎりは、格別だったようで皆お腹いっぱい食べていました。



そして、最後にみんなで花火をしました。吹上花火や手持ち花火を皆で歓声を上げながら楽しんで、本日のデイキャンプを終わりました。こどもたちにとって楽しい夏の思い出となったのであればうれしい限りです。今回の活動は、別府市社会福祉協議会の助成金のおかげで行うことができました。ありがとうございました。

9月

9月は、「こどもの居場所 Mixポケット」内でもちゃらイブラリーのおもちゃで遊んだり、卓球を楽しんだり、日ごろなかなかできないゲームもできました。こども

たちが、それぞれに思いの遊びを楽しみました。

こどもたちの特技も披露してもらい、職員にとっても新しい発見がいっぱいの会になりました。



くるみ

今後の予定

11月 門松づくり

12月 クラシックライブ

1月・2月

国際交流  
韓国の学生さんと遊ぼう！

以上を予定していますが、都合により変更の場合がありますのでその点はご了承ください。

お知らせ

栄光園だより年2回発行へ

栄光園だよりをこれまで年4回お届けしてまいりましたが、来年度より年2回の発行になります。

今後、内容のなご一層の充実を図ってまいりますので、ご要望がありましたら、お気軽にお願いします。

心に種をまこう

児童憲章の中に「すべての児童は、自然を愛し、科学と芸術を尊ぶように、みちびかれ、また、道徳的心情がつけられる」とあります。

くるみでは、2023年より100万人のクラシックライブのご協力を得て、現在年2回のペースでコンサートを行っております。子どもたちや地域の方々に生演奏のすばらしさを体感していただいております。

また、シイタケのコマラうち、タケノコ堀、田植え体験など自然の中での食育体験も行っております。

これらの活動を通して子どもたちの心の中に種をまいていきます。様々な体験を通して、いろいろな分野への興味や関心が芽生え、広い視野で物事を見られるようになってほしいと願っています。

職員の動静

採用

青山こども園

高園 美奈 (保育士)

8月1日付

退職

乳幼児総合支援センター

石川 由衣 (保育士)

7月19日付

中村 宣子 (保育士)

8月1日付



# 栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たちの職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2025年7月1日～2025年9月30日(日)】

## 賛助金

- 安部道人様 大分市
- 影山隆之・由利様 大分市
- 加藤敏夫・千佳様 竹田市
- 島田晉様 大分市
- 竹内富美雄様 別府市
- 長谷川士郎様 別府市
- 帆足和生様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- (有)豊田緑化 豊田憲生様 別府市
- わたなべただし様 別府市

## 一般寄付

- 伊勢方信様 別府市
- 岩田智子様 大分市
- 後藤商店様 別府市
- 匿名様 別府市
- 原順子様 別府市

## 自立進学資金

- 井上せつ子様 大分市
- 梶原康弘様 大分市
- 神鳥慶子様 杵築市
- 匿名様 中津市

## 特別物品寄付

- 物品 (株)イメージン様
- お菓子 甘党男子運営事務局様
- 靴 荒金美代子様
- 洋服・おもちゃ 池邊春奈様
- お菓子 石垣西3丁目自治会 廣田雅代様
- ミルク 市原瑠美様

- 物品 井上武志様
- キュウリ 上野史子様
- 離乳食 梅木善男様
- お米 衛藤大八様
- お菓子 おしの工房 吉川志乃様
- お米 ニューグロリアリゾートグループ様 山本宣雄様
- お菓子 (株)カーライフ大分様 幸野誠司様
- スイカ (株)タカラトミー様 隆テック(株)様
- おくるみ 川北敦子様 渡辺真夫様
- レタス 川崎地質様 コ別府店様
- 〃 九州電力様 二宮洋典様
- 〃 九州電力様 〃
- 〃 〃
- 〃 〃
- 〃 〃
- アイスクリューム 九州アイスクリーム協会(株)明治西日本本社様
- オムツ交換ベッド・おしりふき 倉橋舞様
- パン ココロト様
- お菓子・ジュース・法被 境川社会福祉協議会様
- とうもろこし 坂本和男様
- 哺乳瓶・乳首・ミニタオル・お菓子 佐藤尚子様
- お菓子 篠原成規様
- トマト・スイカ・ゴーヤ等 嶋崎絢子様
- お茶・ザビエル・つぶらなカボス 高橋恵一様
- 衣類・玩具 田北博道様
- お菓子 田中浩子様
- 洋服 谷まい様
- 髪飾り 樽見様
- 衣類・玩具 段原健一様
- とうもろこし・ドーナツ・果物 永田尚子様
- イノシシ肉 中野香織様
- 納豆 仁田野三政様
- 衣類 日本生命保険相互会社大分支社 大塚優様
- 洋服・玩具 野中優子様
- ピーマン・納豆 非営利一般社団法人おふくわけ 代表理事 三ヶ尻英明様
- お米 後藤としみ様
- 保存食・おかゆ・長靴 松川正明様
- お米券 松本洋子様
- 洋服 丸尾裕美様
- ゲーム機・洋服 南誠里美様
- 衣類・物品 明治安田大分北営業所様

## 招待・奉仕

- 金曜学校 別府不老町教会
- 尾崎二郎様・川野是様・園田美保様
- 別府野口教会 庄司宣充様
- 別府マツサージ ハンドバードの皆様 清野量様
- 書道 荒金節子様
- 学習ボランティア 安東秀典様・井上せつ子様 原優月様
- 集いの場くるみ ボランティア 首藤むつよ様・小手川裕市様
- 尾野高史様・林田侑士様・中村進様
- 散髪奉仕 west village 西村大輔様
- 〃 beauty MORE 中村雄一様
- 〃 hair salon Aiwa 立川奈美様
- タレントはなわさんとの交流 (株)そごう・西武商事事業部 営業統括部九州営業所様
- 大分県遊技業組合様
- LifeLine XDUCT様
- APUでの交流

## 賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。  
口座名義 社会福祉法人 栄光園  
口座番号 0193002200748



## 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## クリスマス祝会のお知らせ

児童養護施設栄光園では、毎年12月の第3土曜日にクリスマス祝会を行います。本年度は、12月20日(土)15時30分より礼拝と祝会が始まります。年末の大変ご多忙な折とは思いますが、心を静めてイエス・キリストのご降誕を子どもたちと共に祝いいただければ幸いです。事前にご連絡をいただければ助かります。

## 編集後記

先日、「別府駐屯地創立68周年記念行事」に行ってきました。駐屯地を一般開放して、戦闘機器や装備品の展示などがあり、日ごろ目にするのができないものを間近で見学することができました。平和を享受している現在をありがたしいと思いました。  
来令和8年に「昭和100年」を迎えます。昭和は、世界大戦とその敗北、そしてその苦難と復興の時代でもありました。先日内閣総理大臣所感として「戦後80年に寄せて」が出されました。なによりも歴史に学ぶ姿勢の大切さを述べられており、なぜあの戦争を避けることができなかったのかという点についても述べられていました。今だからこそ一人一人が先の大戦や平和のありようについて考えていくことがこれからの平和を守っていくために必要なことではないでしょうか。(原田)